

第4章 地区別構想

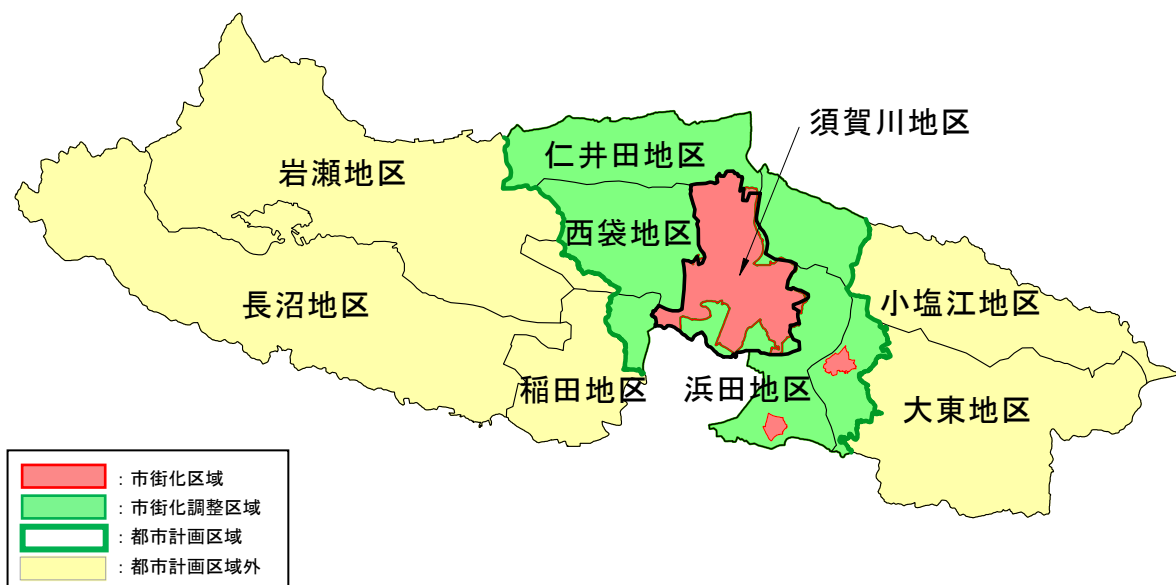
地区別構想は、市民による地区別まちづくり会議を開催し、望ましい将来の姿にするための話し合いの中で出された地区の課題や提案等をもとに、きめ細かなまちづくりの将来像を描いています。

1. 地区区分

- ・区分については、地区の形成過程、特性や課題、コミュニティ等を考慮し、住民が意識している生活圏をもとに考えることが必要です。
- ・地区別構想の区分は、コミュニティが形成されている9地区に分け、下図に示すとおりとします。

地区名	含まれる区域
須賀川地区	市街化区域、市街化調整区域
浜田地区	市街化区域、市街化調整区域
西袋地区	市街化調整区域、都市計画区域外
稲田地区	市街化調整区域、都市計画区域外
小塩江地区	市街化調整区域、都市計画区域外
仁井田地区	市街化調整区域
大東地区	市街化区域、市街化調整区域、都市計画区域外
長沼地区	都市計画区域外
岩瀬地区	都市計画区域外

・2019年(平成31年)に開催した地区別まちづくり会議は上記9地区の区分で行っています。



地区名	構成町内会、行政区
須賀川地区 (市街化区域、 市街化調整区域)	三丁目、大町、本町、馬町、東町、中町、加治町、宮先町、諏訪町、上北町、北町、弘法坦、新栄町、中宿第一、中宿川東、守谷館、昭和町、愛宕町、池ノ下、丸田町、古屋敷、旭町、天良町、池上町、翠ヶ丘、緑町、自由ヶ丘、松が丘、芦田塚、六軒、四丁目、八幡町、南上町、上町、和田池、西川、下宿、森宿、北団地、芹沢町、宮の杜
浜田地区 (市街化区域、 市街化調整区域)	前田川、浜尾、和田、牡丹台
西袋地区 (市街化調整区域、 都市計画区域外)	西川、大桑原、袋田、越久、森宿、吉美根
稲田地区 (市街化調整区域、 都市計画区域外)	岩淵、保土原、古戸、泉田、松塚、稲
小塩江地区 (市街化調整区域、 都市計画区域外)	小倉、塩田、東山第一、堤、上江持、下江持、あおば町
仁井田地区 (市街化調整区域)	仁井田、関下、大谷地、滑川、十貫内、館ヶ岡、向陽町、季の郷
大東地区 (市街化区域、 市街化調整区域、 都市計画区域外)	小作田、市野関、日照田、田中、下小山田、上小山田、狸森、大栗、雨田、東山第二
長沼地区 (都市計画区域外)	勢至堂、上江花、下江花、長沼、滝、志茂、小中、上榊衝、宮本、古館、矢田野、木之崎、横田、堀込、花の里
岩瀬地区 (都市計画区域外)	町守屋、里守屋、源田原、新田、今泉、下柱田、弥六内、上柱田、東部、梅田、滝、上大久保、下大久保、滑沢、矢沢、畑田、北横田、深渡戸、みどりが丘、松南、あおば

2. 地区別構想

2-1. 須賀川地区

1. まちづくりのテーマ

歴史が薫る活気と温もりあふれる地区づくり

2. 地区の特性と将来像

- ・須賀川地区は、江戸時代、奥州街道^{※2}をはじめ複数の街道が交わる要衝であり、現在の県道須賀川二本松線沿いの商店街を中心とした宿場町として繁栄しました。周辺には、国史跡の上人壇麿寺跡をはじめ、遺跡や寺社、松尾芭蕉ゆかりの地などが多く点在する歴史薫る地区です。また、市役所や市民交流センター tette 等の公共施設をはじめとする各種都市施設が立地するなど市の中心地になっています。
- ・中心部では石川街道（主要地方道県道古殿須賀川線）を境に、北側は、円谷英二ミュージアムやウルトラマンなど特撮^{※34}文化を生かした空間の創出、南側は、松尾芭蕉ゆかりの地や風流のはじめ館など俳句文化を中心とした空間創出という2面性を持ったまちづくりで、まちの魅力を創造、賑わいを創出し、県内外も含め多くの人を訪れる地区を目指します。
- ・東北自動車道や国道4号へのアクセスが良く、須賀川卸センター、横山工業団地等は産業物流の拠点となっています。
- ・国名勝の牡丹園や、翠ヶ丘公園等の名所が多く、松明あかしや釈迦堂川花火大会など四季折々に伝統行事やイベントが行われ多くの観光客が訪れます。
- ・駅前、山寺等の区画整理事業や住宅開発、さらにJR須賀川駅及び周辺地区の整備や南部地区^{※12}の再整備等により、良好な住環境が形成されています。
- ・現在は市街化区域の縁辺部に商業施設の集積が見られ、中心市街地の空洞化が進んでおりますが、本市の中心地として歴史や文化を守り、良好な住環境を維持するために必要な都市施設の誘導等で地区の活性化を図り、市民や来訪者に優しい安全で安心な地区づくりを目指します。
- ・公共交通の利活用推進を図るため、循環バスを軸とした交通網を整理し、交通利便性の高い地区を目指します。
- ・公園を、自然豊かで潤いのある安心な空間と、民間活力を生かした施設整備やイベント活動を活発化するにぎわいのある空間に区分し、利用者が自分に合った過ごし方を選択して利用できる公園の整備を推進します。
- ・頻発・激甚化^{※14}する災害に備えたハード^{※13}対策、ソフト^{※10}対策を具体化した「防災指針」による総合的な防災・減災対策により、安全・安心なまちづくりの実現を目指します。
- ・浸水被害を受けた地区から、近隣の高台への移転について検討します。

- 伝統や文化を大切にした活力のある中心市街地
- 特撮^{※34}・俳句を特長とする2つの顔を持つまち
- 工業団地などの産業拠点やニュータウンが整備された活気あふれるまち
- 自家用車が必要ない利便性が高いまちづくり
- 活発な公園利用を推進し豊かなみどりと潤いのある安全で安心なまち
- 特撮・俳句を活用した賑わいあふれるまちづくり
- 水害に備えたまちづくり

3. まちづくりの整備方針

【土地利用】

（市街化区域）

土地区画整理事業^{※8}や、大型の宅地開発で整備された住宅地を中心に、戸建て住宅地や中高層住宅地で構成される専用住居地として位置づけています。周辺の緑との調和を図りながら良好な住環境を維持し、高齢化の進行にも配慮した都市基盤や公共施設の整備・維持管理に努めます。

複合住宅地は、中心商業、業務地や幹線沿道商業及び業務地の後背地に配置し、商業・業務施設の他用途との混在を可能とした良好な住環境の保全・形成を図ります。

近隣商業地域は、国道4号及び都市計画道路栄町西川線沿道などの交通利便性の良い地区や、中町を中心とした須賀川駅並木町線（県道須賀川二本松線）沿道に形成された古くからの中心市街地を、誰もが利用しやすい拠点としてまちの形成を図ります。

牡丹園の補完施設として、四季を通じた通年誘客、また、道の駅を核とした産業の情報発信拠点の整備を目的とし、交流人口の拡大や、市内の施設などと連携を図るために民間活力を導入して牡丹台アメニティゾーンの整備を検討します。

駅に隣接したJR須賀川駅西側地区は、新たな市の玄関口として駅の東側と連絡する通路を整備し、利便性を向上させることで未利用になっている土地の利用を促し、駅周辺の魅力向上と活性化を図ります。

工業用地については、工業地域の工場等の集積形成地や、工業専用地域の用途が指定されている北部工業団地及び横山工業団地を位置づけ、生産環境の維持・向上に努めます。また、北部工業団地の東側、国道4号西側の森宿地区の工業地域については、住居・工場混在の土地利用の整序に向け、土地利用動向を鑑み、用途にふさわしい環境形成を図ります。

【道路・交通】

都市計画道路^{※9}については、計画的な土地利用に合わせ、ネットワークの形成に対応した道路整備に努めます。

市街化区域内の都市計画道路の未整備路線については、今後、将来的な需要の見直しや既存道路の代替えも視野に入れながら整備計画等について見直しを行います。

市街地内における安全安心な生活環境を形成するため、幹線道路^{※25}を子ども、高齢者、障がい者の誰もがゆとりをもって安心して通行できる、バリアフリー歩行空間として整備し、都市計画道路須賀川駅並木町線については、無電柱化を推進します。

市街地内の交通については、自家用車を持たない人も快適に移動できるような次世代交通等も含めた公共交通システムを検討します。

須賀川駅周辺は時間帯による交通混雑や国道4号から駅へ向かう道路の冬期間凍結による通行阻害を軽減するため、駅の東西自由連絡通路に併せ、駅の西側へスムーズに通行できる東西の幹線道路等の整備を進めます。

【公園・緑地】

国史跡の上人壇廃寺跡を生かした（仮称）上人壇廃寺跡史跡公園は、JR須賀川駅西側の土地利用と併せた整備を検討します。

公園・緑地等の緑の拠点と市街地の緑化された道路や水辺を、ゆとりある歩行空間等で結ぶ水と緑のネットワークの維持を図り、市民だけでなく、まちを訪れる人々にとっても、憩い、やすらぎ、精神・身体的健康の維持、散策等の場として、それぞれが楽しめる施設にします。特に、市街地の中央を流れる釈迦堂川の水辺は、市民の散策や憩いの場として整備されており、今後も、遊歩道の維持・管理に努めます。

翠ヶ丘公園をはじめ、規模の大きな公園は、民間事業者と共に賑わい創出の取り組みを推進します。

【環境・景観】

古くは宿場町、商業都市として栄えた歴史を踏まえ、JR須賀川駅西側の国史跡上人壇廃寺跡や、市街地を南北に通る須賀川駅並木町線（旧奥州街道^{※2}）、さらには、緑豊かな翠ヶ丘公園周辺を「歴史・文化・にぎわい軸」として、公園や道路整備の際には、歴史・文化を醸し出すような景観形成を図ります。

建物の景観、緑化等については、「まちづくり協定」等により、市民主導の景観形成を促進します。

市街地の中央を東西に流れる釈迦堂川は「親水・やすらぎ・アメニティ軸」として、市民だけでなく、まちを訪れる人々にとっても、憩い、やすらぎ、散策等の場となるよう関係機関との連携を図りながら親水空間の整備と景観形成に努めます。

また、安全安心のみならず、楽しく快適に散策できる美しい道路景観づくりについて、市民との協働により進めます。

市街地の住宅、寺社等の古木や巨木は、地域の自然資源としてシンボルとなるため、所有者の理解と協力により保護するとともに、市民に広く公表し、貴重な樹木の大切さを周知します。

公共施設の改修等については、周辺環境と調和するよう、意匠、形態、色彩等に配慮します。

また、俳句を中心とした和文化の振興を推進する南部地区^{※12}などでは、街路や公共サイン、施設案内表示等の景観への配慮についても、関係機関、企業及び市民との協働により進めます。

【災害対策】

中心地の木造住宅・店舗密集地区については、幹線道路^{※25}・生活道路^{※21}網、街路樹の整備及び公園・緑地等のオープンスペース^{※35}の確保を進め、延焼遮断空間、避難経路及び救援経路を確保し、安全で安心して暮らせるまちを目指します。

豪雨による水害が発生している準用河川笹平川や雨水幹線等については、国や県と連携し、河川整備や浸水被害対策の強化に努めます。

高齢化や人口減少等により、今後の地域防災力に課題があるため、自主防災組織の結成や日常における地区住民間での協力、連携の強化等を推進することにより、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

令和元年東日本台風により甚大な被害を受けた地区等で高台移転等についても検討します。

【地域活動・その他】

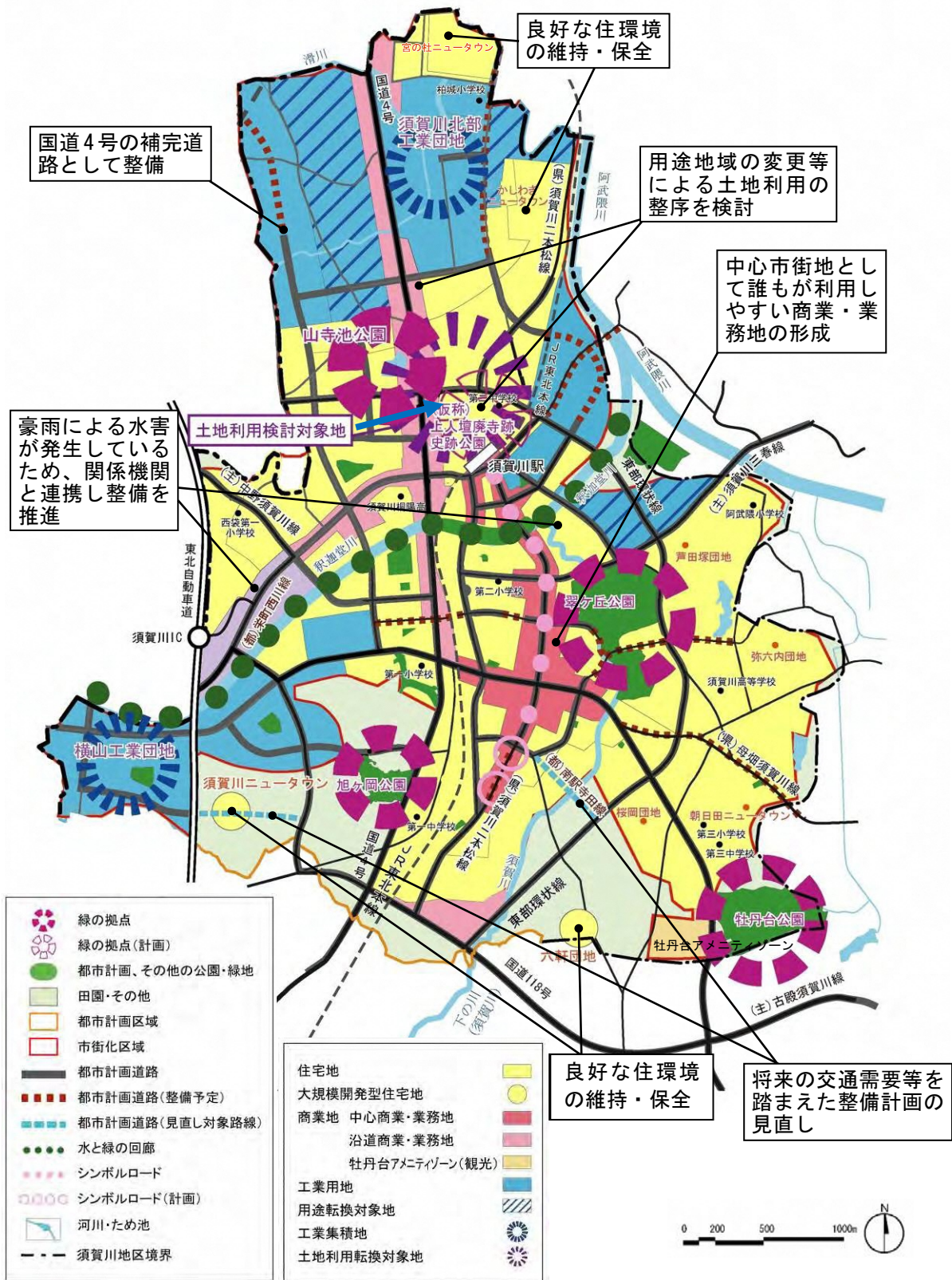
住民のボランティア活動により、河川や各公園などの清掃、花植え作業、施設管理等が行われており、今後もさらに発展させ、住民主体のまちづくりが展開できる仕組みづくりを検討します。

市民交流センター tette 内の「円谷英二ミュージアム」を中心として、特撮^{※34}イベント等を開催し、特撮文化を利用した交流を図ります。

豊富な既存運動施設を生かし、大会の会場とするなど、スポーツの振興に取り組みます。

地区住民が実施する防犯パトロールや福祉施設・公共施設へのボランティア活動に対する支援を推進します。

須賀川地区まちづくり方針図



2-2. 浜田地区

1. まちづくりのテーマ

豊かな実りと活気ある地区づくり

2. 地区の特性と将来像

- ・浜田地区は基盤整備された農地が広がり、品質の高い農産物を生産しています。
- ・南部に位置する須賀川南部工業団地は、産業の拠点として整備されています。
- ・松尾芭蕉が「おくのほそ道」の途次に訪れた乙字ヶ滝や市史跡の和田大仏をはじめ、多くの文化・観光資源があります。
- ・質の高い農産物をより多くの人に消費してもらうため、市街地部と連携を強化し、地産地消を推進します。
- ・子どもから高齢者まで住みやすい地区づくりを進めるため、安全・安心で良好な生活環境の整備を進めます。
- ・空地や空家、休耕地等を活用し、世代間のコミュニティ活性化を図れる地区を目指します。
- ・浸水想定区域等について近隣の高台等への移転について検討します。

- 乙字ヶ滝などの文化・観光資源を生かした活力ある地区
- 質の高い農産物を生産し、農産品販売を促進する地区
- 豊かな田園環境に囲まれた住みやすい地区
- 地域内のコミュニティ活性化と、市街地との良好なネットワーク形成
- 未利用地有効活用の推進
- 水害に備えたまちづくりの推進

3. まちづくりの整備方針

【土地利用】

（市街化区域）

南部工業団地は工業拠点として、生産環境の維持向上を図ります。

（市街化調整区域）

牡丹台ニュータウンのように整備された大規模な住宅地については、良好な住環境を維持・保全します。また、市街地とのネットワークの向上に努めます。

阿武隈川西部に広がる優良農地と農村集落を併せた田園集落地では、生活環境の維持・向上に努め、無計画な集落の拡大・拡散を防ぎます。農業基盤が整備された優良農地については、良好な営農環境の維持・保全に努めます。

令和元年東日本台風による浸水被害を受けた企業については、工業団地の拡張などを行い、移転等について検討します。

【道路・交通】

国道118号、都市計画道路福島空港線・辰ノ口前田川線が整備されています。今後は、関係機関と連携を図りながら、道路や沿道環境の維

持・管理に努めます。

生活に密着した道路については、歩行空間の確保、道路の危険箇所の解消、緊急車両に対応した幅員の確保等、安全対策を図ります。

高齢者や子どもなど、交通弱者の移動手段を確保するため、利用目的に応じた公共交通の整備に努めます。また、住民の生活動線を意識した幹線道路^{※25}による市街地へのアクセス強化に努めます。

【公園・緑地】

子どもたちが安心して遊んだり、高齢者が利用できる広場や身近な公園等を、利用者である地区住民が主体的に維持、管理、運営等ができるよう支援します。

浜尾遊水地の平常時は、自然環境学習や市民の憩いの場としての活用について、市民、ボランティア団体、関係機関等と連携して検討します。

【環境・景観】

地区の東側を阿武隈川が流れる田園地帯であり、豊かな自然環境が残っています。今後は、在来種の動植物を保護し、市民、ボランティア団体、環境機関等が協力して子どもたちが自然を学べる環境づくりを検討します。

阿武隈川には乙字ケ滝があることから美しい景観を保全し、河川沿いについても景観向上を図ります。

【災害対策】

高齢化や人口減少等により、今後の地域防災力に課題があるため、自主防災組織の結成や日常における地区住民間での協力、連携の強化等を推進することにより、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

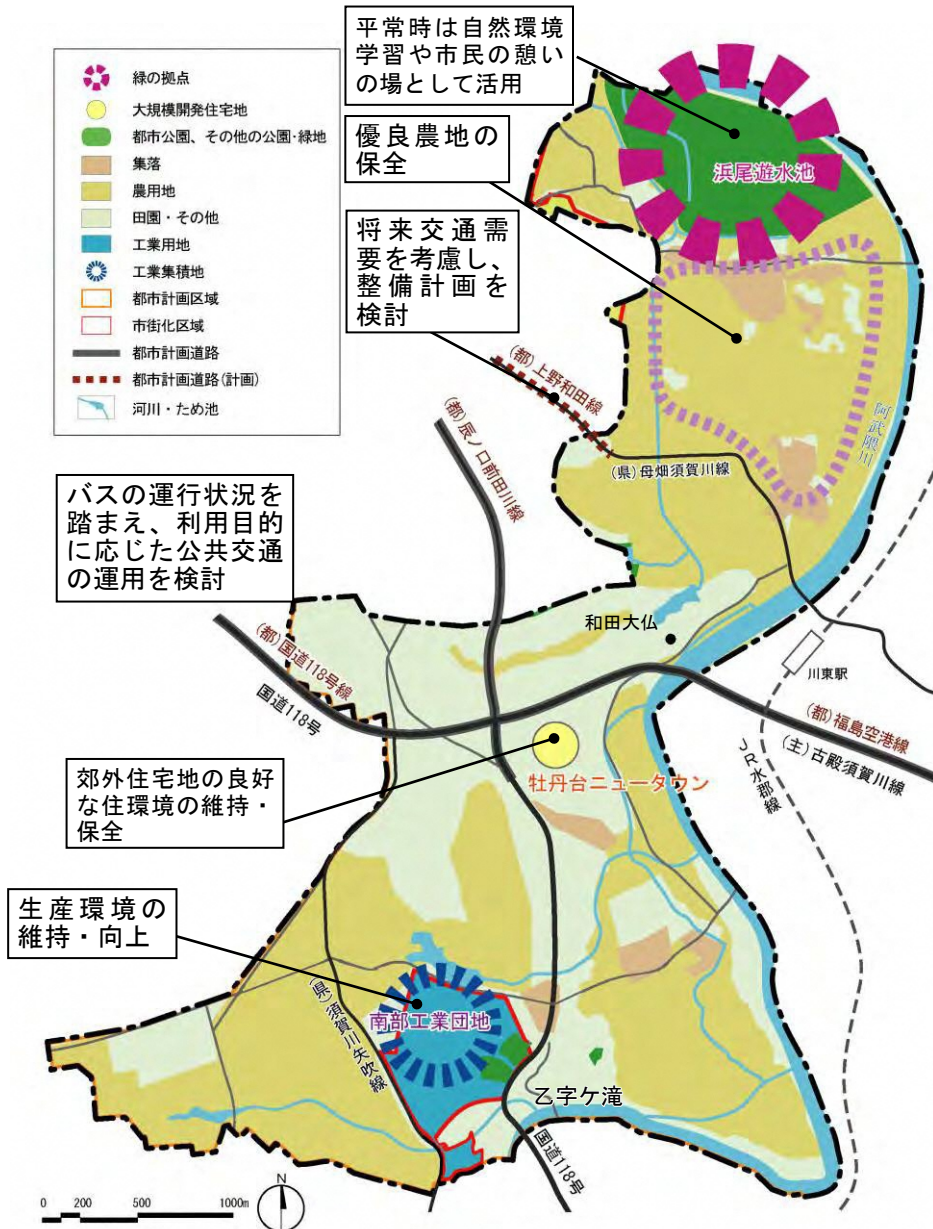
令和元年東日本台風により甚大な被害を受けた地区等については、高台移転等の検討や、国や県と連携し、河川整備や浸水被害対策の強化に努めます。

【地域活動・その他】

除草作業等の自然環境維持や防犯活動等を地域住民との協働により継続して実施します。

農産品の消費について、市街地部と連携強化を図り、消費の拡大を目指します。また、地産地消の推進や農業者主催のイベント実施等、農業の振興を図るため、空家や空地など、現在利用されていない土地を活用した地域コミュニティの活性化に努めます。

浜田地区まちづくり方針図



2-3. 西袋地区

1. まちづくりのテーマ

豊かな緑と充実した生活環境が整った地区づくり

2. 地区の特性と将来像

- ・西袋地区は自然が豊富で、米、果樹等の農業が盛んな地区です。
- ・須賀川 I C 近くには越久工業団地が整備されています。
- ・観光名所である大桑原つつじ園には多くの観光客が訪れています。
- ・農業や工業等の産業振興を進めるとともに、生活道路^{※21}の整備や既存公共施設等を活用し、身近な生活環境の充実を図り、豊かな緑の中で安全で安心して暮らせる地区づくりを目指します。
- ・市街地との良好な関わり方を検討し、最適な地区のネットワーク形成や住環境に必要な生活利便性の向上を図るため、地区拠点づくりを目指し、世代間のコミュニティの活性化を図ります。

- 観光、工業、農業等の産業振興により活気あふれる地区
- 医療施設・教育環境の維持や基盤整備による生活しやすい地区
- 地域コミュニティ活性化と、市街地との良好なネットワーク形成
- 未利用地有効活用の推進

3. まちづくりの整備方針

【土地利用】

（市街化調整区域）

越久工業団地は工業集積地と位置づけ、操業環境の向上を図ります。

岩根川沿いに広がる優良農地と点在する農村集落をあわせて田園集落地とし、集落地の生活環境の維持・向上や優良農地の改変を防ぎ、良好な営農環境を保全します。

（都市計画区域外）

大桑原工業集積地区の操業環境の向上を図ります。

【道路・交通】

広域的な幹線道路^{※25}である主要地方道中野須賀川線を中心として、市街地までの交通インフラ及び公共交通の維持を図るとともに、良好な道路環境の保全に努めます。

高齢者や子どもなどの交通弱者の移動手段

を確保し、既存バス路線の運行状況を踏まえ、公共交通体系の整理に努めます。

生活に密着した道路については、歩行空間の確保、道路の危険箇所の解消、緊急車両に対応した幅員の確保等、安全対策を図ります。

【公園・緑地】

子どもが自由に遊べる身近な公園、広場等について、施設の維持・管理に努めます。

【環境・景観】

田園景観、集落、岩根川等からなる田園景観ゾーンは、地域ごとの歴史・風土、集落環境及び田園環境として保全し、地域にふさわしい景観の維持、再生に努めます。

農地と集落、周辺の里山が一体となった良好な田園環境を保全します。

【災害対策】

高齢化や人口減少等により、今後の地域防災力に課題があるため、自主防災組織の結成や日常における地区住民間での協力、連携の強化等を推進することにより、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

【地域活動・その他】

地域体育館や学校の体育館を有効に活用し、住民の健康増進を図り、生活しやすいまちづくりを進めます。

大桑原つつじ園の観光や農業等の産業の振興を図ります。

地産地消の推進や農業者主催のイベント実施等、農業の振興を図るため、空家や空地など、現在利用されていない土地を活用した地域コミュニティの活性化に努めます。



2-4. 稲田地区

1. まちづくりのテーマ

豊かな田園環境と住みよい地区づくり

2. 地区の特性と将来像

- ・稲田地区は、米やきゅうりなどの生産を中心とした農業が盛んな地区です。
- ・緑豊かな自然に育まれた田園環境と集落環境が調和した地区で、北部には須賀川市墓地公園が整備されています。
- ・道路等の整備を進めながら良好な集落環境の向上を目指します。また、ため池等の自然環境の保全や農業の振興を図ります。
- ・市街地との良好な関わり方を検討し、最適な地区のネットワーク形成や住環境に必要な生活利便性の向上を図る地区拠点を中心に、住民主導の地域活動やまちづくり活動を通じて、世代間のコミュニティ活性化を図る地区を目指します。
- ・稲田地区には、稲村城跡や稲村御所館跡など重要な遺跡が保存されています。

- ため池の保全や山林の有効な土地利用による田園環境と調和した地区
- 集落環境の向上と農業振興を図り誰もが安心して暮らせる地区
- 地域コミュニティ活性化と、市街地との良好なネットワーク形成
- 未利用地有効活用の推進

3. まちづくりの整備方針

【土地利用】

（市街化調整区域及び都市計画区域外）

江花川や稲川沿いに広がる優良農地と農村集落をあわせて田園集落地とし、生活環境の維持・向上と優良農地の改変を防ぎ、米やきゅうりなどを生産する良好な営農環境を保全します。

【道路・交通】

国道 118 号を中心として市街地までの交通インフラ及び公共交通の充実を図り、良好な道路環境の維持に努めます。

生活に密着した道路については、歩行空間の確保、道路の危険箇所の解消、緊急車両に対応した幅員の確保等、安全対策を図ります。

高齢者や子どもなどの交通弱者の移動手段を確保し、既存バス路線の運行状況を踏まえ、住民の生活動線を意識した交通インフラ及び公共交通の充実に努めます。

【公園・緑地】

須賀川市墓地公園については、都市施設として機能するために施設の充実を図ります。

【環境・景観】

田園景観、集落、釈迦堂川、江花川等からなる田園景観ゾーンは、地区の歴史・風土、集落環境及び田園環境として保全し、地域にふさわしい景観の維持、再生に努めます。

国道 118 号沿道については、背景となる田園、自然景観に配慮した景観の維持・形成に努めます。

【災害対策】

高齢化や人口減少等により、今後の地域防災力に課題があるため、自主防災組織の結成や日常における地区住民間での協力、連携の強化等を推進することにより、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

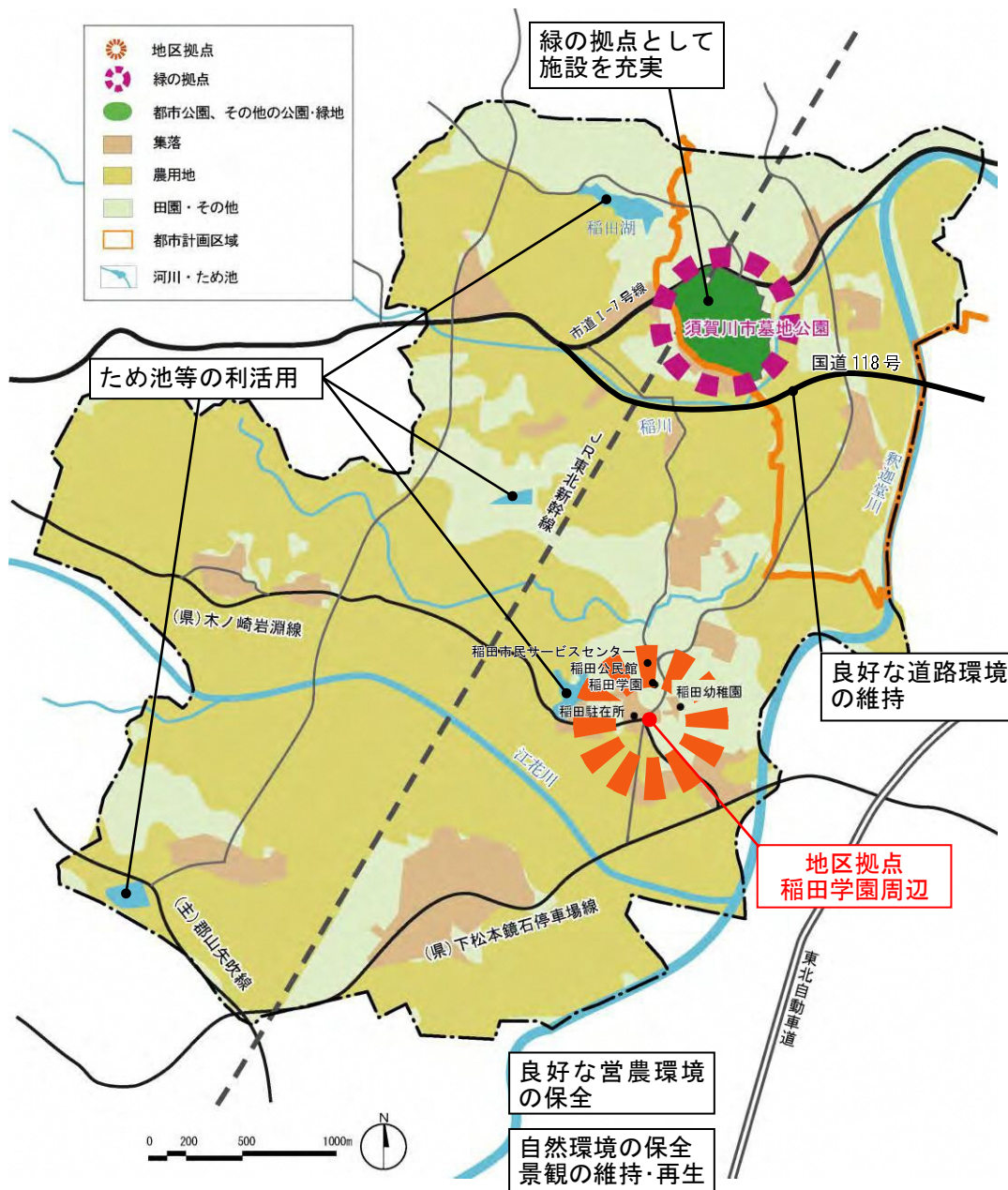
【地域活動・その他】

地区の安全・安心な暮らしを守るため、自治会等のコミュニティ組織を支援します。

神社・遺跡等を保全し、地区の歴史・文化を継承していきます。

地産地消の推進や農業者主催のイベント実施等、農業の振興を図るため、空家や空地など、現在利用されていない土地を活用した地域コミュニティの活性化に努めます。

稲田地区まちづくり方針図



2-5. 小塩江地区

1. まちづくりのテーマ

うつくしい景観・豊かな自然環境と共生する住みやすい地区づくり

2. 地区の特性と将来像

- ・小塩江地区は自然が豊富で米や果樹、ソバなど農業が盛んな地区です。
- ・うつくしま百名山の一つで国史跡の宇津峰があり、その中腹にある市民の森は、キャンプ場やハイキングコース等、市民のレクリエーション^{※27}の場として整備されています。
- ・福島空港と郡山市の中間に位置する住みやすい立地条件を生かした住環境を維持し、若い世代からも選ばれる魅力ある地区づくりを目指します。
- ・世代間を通じた交流活動の活性化や、豊かな自然とレクリエーション施設を活用した活気のある安全・安心な地区づくりを進めます。
- ・市街地との良好な関わり方を検討し、最適な地区のネットワーク形成や住環境に必要な生活利便性の向上を図る地区拠点を中心に、住民主導の地域活動やまちづくり活動を通じて、世代間のコミュニティ活性化を図る地区を目指します。

- 美しい宇津峰の景観や自然環境の保全に努め、緑と共生する観光振興の展開を図る地区
- 地域コミュニティ活性化と、市街地との良好なネットワーク形成
- 地区拠点を中心とした、地域コミュニティの活性化を図る地区

3. まちづくりの整備方針

【土地利用】

（市街化調整区域）

あおば町は住宅地として良好な住環境を維持・保全します。

（市街化調整区域及び都市計画区域外）

地区の中央から西部にかけて広がる優良農地と点在する農村集落をあわせて田園集落地とし、良好な営農環境の保全や集落地の生活環境の維持・向上を図ります。

（都市計画区域外）

東部に広がる阿武隈高地の山林・山間農地・集落地は、森林を支える基盤であり、本市の豊かな水の源であることから森林資源の維持・保全に努めます。

【道路・交通】

中心市街地や隣接都市を結ぶ主要地方道須賀川三春線等の幹線道路^{※25}については、交差点の改良、歩道の設置等の整備を関係機関と連携を図りながら進め、安全で円滑な交通の確保に努めます。また、東部地区と市街地を結ぶ幹線道路の整備を検討します。

生活に密着した道路については、歩行空間の確保、道路の危険箇所の解消、緊急車両に対応した幅員の確保等、安全対策を図ります。

高齢者や子どもなどの交通弱者の移動手段を確保するため、乗合タクシーの運行維持に努めるとともに、JR水郡線小塩江駅については、関係機関との連携を図りながら、利便性の向上を図ります。

また、道路ネットワーク維持による市街地までのアクセス改善に努めます。

【公園・緑地】

あおば町内の身近な公園については、住民と協力して施設の維持に努め、施設の管理、運営等についても地区住民が主体的に行えるよう支援します。

宇津峰にある市民の森は、多くの市民が自然と触れられる場として維持します。

【環境・景観】

うつくしま百名山の一つで国史跡の宇津峰があり、その裾野に広がる田園景観や背景となる阿武隈高地の自然景観を維持します。

農地と集落、周辺の里山が一体となった田園環境を保全します。また、宇津峰山自然環境保全地域をはじめとする山地、山林の自然環境を保全します。

【災害対策】

高齢化や人口減少等により、今後の地域防災力に課題があるため、自主防災組織の結成や日常における地区住民間での協力、連携の強化等を推進することにより、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

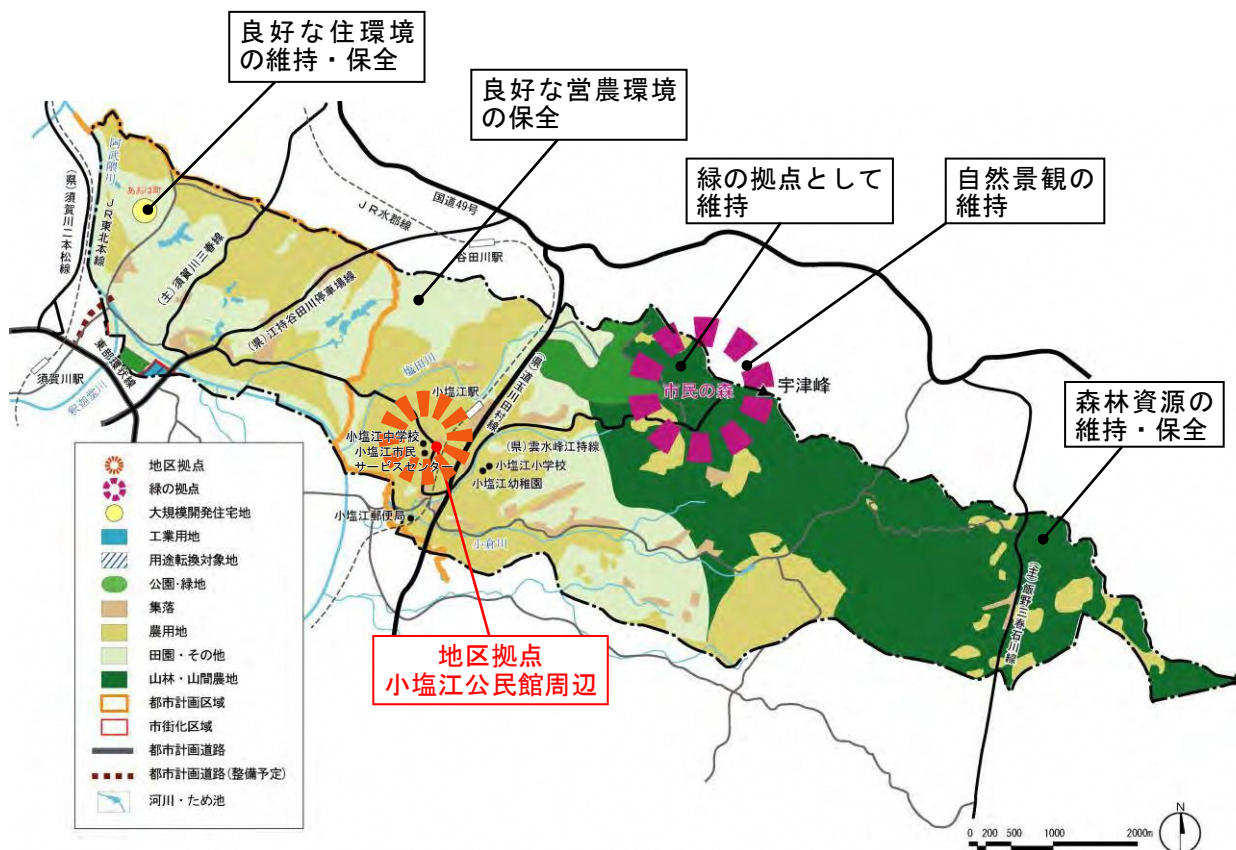
江持地区の内水被害を軽減するため、雨水排水対策の強化に努めます。

【地域活動・その他】

宇津峰登山や市民の森キャンプ場等のレクリエーション※27 施設を活用した観光振興を図ります。

地産地消の推進や農業者主催のイベント実施等、農業の振興を図るため、空家や空地など、現在利用されていない土地を活用した地域コミュニティの活性化に努めます。

小塩江地区まちづくり方針図



2-6. 仁井田地区

1. まちづくりのテーマ

豊かな自然と人材を生かした地区づくり

2. 地区の特性と将来像

- ・仁井田地区は自然が豊かな地区で、農地の整備も進んでおり、米などの生産が盛んな田園地区です。
- ・向陽町、季の郷の住宅地が整備され、地域活動やサークル活動が盛んでコミュニティの形成が図られている地区です。
- ・地域活動を通し、地区のコミュニティ活性化の推進や豊かな自然環境を保全していくため、環境に対する意識の向上を目指します。
- ・市街地との良好な関わり方を検討し、最適な地区のネットワーク形成や住環境に必要な生活利便性の向上を図るため、地区拠点づくりを目指し、世代間のコミュニティの活性化を図ります。
- ・仁井田地区には、市無形民俗文化財の仁井田田植え踊りや市史跡の館ヶ岡磨崖仏など、多くの文化・観光資源があります。
- ・浸水想定区域等について近隣の高台等への移転について検討します。

- 豊かな自然環境を保全・活用し、緑と共に生活を育む地区
- 地域コミュニティ活性化と、市街地との良好なネットワーク形成
- 地区拠点を中心とした、地域コミュニティの活性化を図る地区

3. まちづくりの整備方針

【土地利用】

（市街化調整区域）

仁井田公民館、郵便局、商店等が集積する大規模既存集落である仁井田を集落生活拠点に位置づけ、地区の中心として日常生活の機能維持に努めます。

向陽町、季の郷は、住宅地として良好な住環境を維持・保全します。

物流施設が集積する国道4号沿道の北部（滑川地内）は、郡山市及び本市市街化区域に隣接し、交通の便がよいことから、産業振興や雇用の創出、労働力の確保が期待できる場所として検討します。

滑川沿いに広がる優良農地と農村集落をあわせて田園集落地とし、生活環境の維持・向上と優良農地の改変を防ぎ、良好な営農環境を保全します。

【道路・交通】

周辺都市及び本市市街地と集落を円滑に結ぶ広域的な幹線道路^{※25}となる主要地方道郡山矢吹線、県道須賀川二本松線・安積長沼線・三穂田須賀川線等について、関係機関と連携して整備促進に努めます。

国道4号の補完道路として都市計画道路関下一里坦線の整備を進め、隣接市との連携を強化します。

生活に密着した道路については、歩行空間の確保、道路の危険箇所の解消、緊急車両に対応した幅員の確保等、安全対策を図ります。

高齢者や子どもなどの交通弱者の移動手段を確保するため、市街地までの道路ネットワークの改善及び公共交通の整備に努め、市街地までの移動が便利になるよう努めます。

【公園・緑地】

子どもや大人が自由に遊べる身近な公園・広場等について、住民と協力して施設の維持に努め、施設の管理・運営についても地区住民が主体的に行えるよう支援します。

また、地区の豊かな自然を保護するため、公園の適切な維持管理に努めます。

【環境・景観】

田園景観、集落、滑川等からなる田園景観ゾーンは、地域ごとの歴史・風土、集落環境及び田園環境として保全し、地域にふさわしい景観の維持、保全に努めます。

また、河川改修等においては、多様な生物の生息環境の維持・保全に努めます。

【災害対策】

高齢化や人口減少等により、今後の地域防災力に課題があるため、自主防災組織の結成や日常における地区住民間での協力、連携の強化等を推進することにより、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

令和元年東日本台風により甚大な被害を受けた地区等については、高台移転等の検討や、国や県と連携し、河川整備や浸水被害対策の強化に努めます。

【地域活動・その他】

地域の活性化のため、少子高齢化に対応した地域コミュニティづくりを目指します。

農業者や新興住宅地主催のイベント実施等の地域振興を図り、地域コミュニティの活性化に努めます。



2-7. 大東地区

1. まちづくりのテーマ

ブランド化による産業振興と生活利便性が高い活力ある地区づくり

2. 地区の特性と将来像

- ・大東地区には福島空港があり、空港周辺には“美しい緑に囲まれた、未来に広がる「空の公園」”をコンセプトにした福島空港公園が整備されています。また、空港に近接して須賀川テクニカルリサーチガーデンが整備され、企業誘致が進んでいます。
- ・古寺山の松並木や八流の滝、芭蕉の辻、市史跡の団子山古墳などの文化・観光資源があります。
- ・空港や須賀川テクニカルリサーチガーデン等の活用や、地場製品のブランド化等の産業振興を図り、地域の活性化を進めていきます。
- ・市街地との良好な関わり方を検討し、最適な地区のネットワーク形成や住環境に必要な生活利便性の向上を図るため、地区拠点づくりを目指し、世代間のコミュニティの活性化を図ります。
- ・浸水想定区域等について近隣の高台等への移転について検討します。

- 空港や須賀川テクニカルリサーチガーデン等の利活用と、地場製品のブランド化などによる産業振興を図る地区
- 地域コミュニティ活性化と、市街地との良好なネットワーク形成
- 地区拠点を中心とした、地域コミュニティの活性化を図る地区
- 水害に備えたまちづくり

3. まちづくりの整備方針

【土地利用】

（市街化区域）

JR水郡線川東駅周辺は、市街地として生活利便施設や住宅が集積する地区の中心として住環境を維持します。

（市街化調整区域及び都市計画区域外）

阿武隈川から地区中央にかけての優良農地と農村集落をあわせて田園集落地とし、生活環境の維持・向上と優良農地の改変を防ぎ、営農環境を保全します。

（都市計画区域外）

地区の東部を山林・山間農地・集落地と位置づけ、本市の豊かな水の源であることから森林資源の維持・保全に努めます。

【道路・交通】

広域的な幹線道路^{※25}である県道母畑須賀川線・玉川田村線については、交通の安全を確保するため関係機関と連携を図り整備について検討します。

生活に密着した道路については、歩行空間の確保、道路の危険箇所の解消、緊急車両に対応した幅員の確保等、安全対策を図ります。

空の玄関口である福島空港を、他の主要都市や海外との交流拠点として維持します。

高齢者や子どもなどの交通弱者の移動手段を確保するため、乗合タクシーの運行維持に努めるとともに、利用目的に応じた公共交通の再編を検討します。また、JR水郡線川東駅については、関係機関との連携を図りながら、利便性の向上に努めます。

【公園・緑地】

福島空港公園やうつくしま未来博記念の森は緑の拠点であり、特色ある公園・緑地として維持します。

子どもが自由に遊べる身近な公園・広場等について、地元住民と協力して維持・管理に努めます。

【環境・景観】

田園景観ゾーンは、地域ごとの歴史・風土、田園環境として保全します。

研究関連施設やふくしま森の科学体験センター（ムシテックワールド）等の自然・環境学習施設と住宅等が近接した須賀川テクニカルリサーチガーデン周辺は、豊かな自然環境と山並みを背景として立地しており、今後も周辺環境や景観との調和に努めます。

福島空港周辺は、田園景観と山並みを背景として福島空港公園と一体となった緑豊かな景観形成が進められており、今後とも良好な景観の維持に努めます。

【災害対策】

高齢化や人口減少等により、今後の地域防災力に課題があるため、自主防災組織の結成や日常における地区住民間での協力、連携の強化等を推進することにより、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

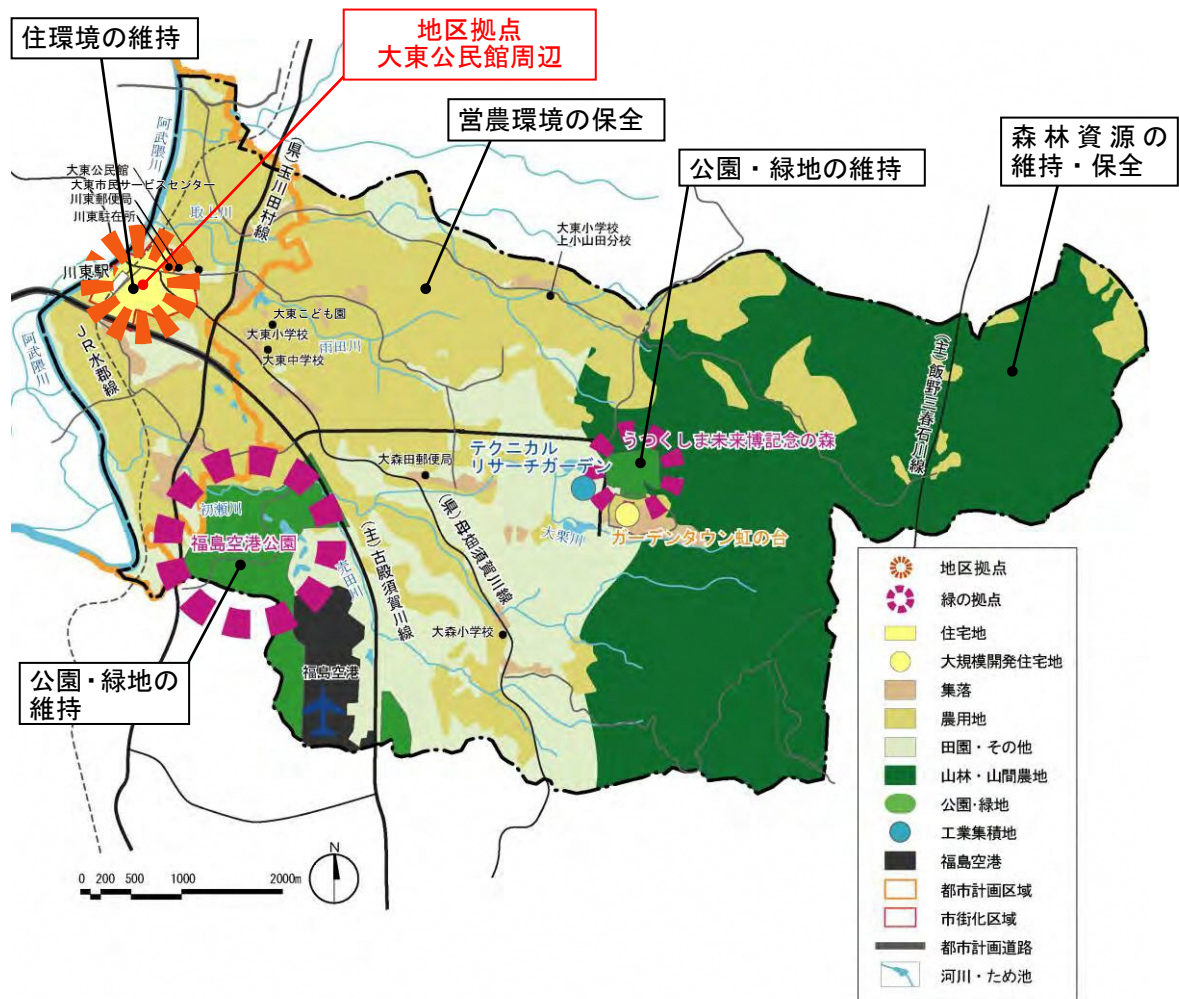
令和元年東日本台風により甚大な被害を受けた地区等については、高台移転等の検討や、国や県と連携し、河川整備、内水被害を軽減するための雨水排水強化等に努めます。

【地域活動・その他】

農業と商工業の連携による特産品のブランド化を目指します。

地区の活性化活動として、農業従事者が多いことを生かした、グリーンツーリズム^{※29}の推進や農業者主催のイベント実施等、都市と農業の共生を図るため、空家や空地など、現在利用されていない資源を活用し、地域コミュニティの活性化に努めます。

大東地区まちづくり方針図



2-8. 長沼地区

1. まちづくりのテーマ

豊かな水と自然と歴史が調和し、安全で安心な活力ある地区づくり

2. 地区の特性と将来像

- ・長沼地区は、会津若松と白河を結ぶ会津街道の要衝として古くから発展し、長沼城址や榊衝神社に関連する文化財や祭礼行事など、多くの文化・観光資源を有する地区です。
- ・永泉寺や護真寺などの桜の名所をはじめ、勢至堂地区や藤沼湖自然公園、清八清水等の良質な湧水や名所がありモリアオガエルが生息するなど、四季折々の豊かな自然を味わうことができます。
- ・農業が盛んでニラ、きゅうり、ナタネ、ソバなどの特産品があります。
- ・道路や公園等の施設の整備を進め、公共交通の利便性を確保し、さらには、ながめまニュータウン「花の里」等の定住促進による地域活性化を図りながら、冬季の除雪等雪対策、生活基盤の安定を図り、安全で安心な地区づくりを目指します。
- ・市街地との良好な関わり方を検討し、最適な地区のネットワーク形成や住環境に必要な生活利便性の向上を図るため、地区拠点づくりを目指し、世代間のコミュニティの活性化を図ります。
- ・地区内の地区拠点や生活拠点、観光資源と連動しながら、住民主導の地域活動やまちづくり活動を通じて、地域コミュニティの活性化を目指します。

- 祭礼行事の継承や天然記念物など、歴史と自然が調和した地区
- 長沼城址や藤沼湖自然公園などの文化・観光資源を活用して活性化を図る地区
- 優良農地を保全し、遊休農地を活用した活気ある地区
- 公共交通の維持、道路整備や冬季の雪対策による安全で安心に暮らせる地区
- 地域コミュニティ向上と、市街地との良好なネットワーク形成
- 地区拠点を中心とした地域資源の利活用推進や連動制向上で活性化を目指す地区

3. まちづくりの整備方針

【土地利用】

(都市計画区域外)

ながめまニュータウン「花の里」等の住宅地については、良好な住環境を維持・保全します。

長沼第1、第2、第3工業団地は、操業環境の維持に努めます。

江花川、簀ノ子川及び磐瀬川沿いに広がる優良農地と点在する農村集落をあわせて良好な営農環境の保全や集落地の生活環境の維持・向上を図ります。

西部に広がる奥羽山地の山林・山間農地・集落地は、森林を支える基盤であり、豊かな水の源であることから、森林資源の維持・保全に努めます。

【道路・交通】

国道118号、主要地方道郡山矢吹線、県道矢吹堀込線・木ノ崎岩淵線等は、地区の主要道路のため、関係機関と調整を図り機能の維持・管理に努めます。

生活に密着した道路については、歩行空間の確保、道路の危険箇所の解消、緊急車両に対応した幅員の確保等、安全対策を図ります。

冬期間の地吹雪や道路の吹きだまり、路面凍結に対する安全対策を図ります。

高齢者や子どもなどの交通弱者の移動手段を確保するため、既存バス路線の運行状況を踏まえ、利用目的（学校、温泉、病院、商業施設等）に応じたネットワークを検討します。

【公園・緑地】

集落において、子どもたちが安心して遊んだり、高齢者が利用できる広場や身近な公園等を、地区住民との協働により確保に努めます。

江花川沿いには、田園風景を楽しみながら散歩ができる親水空間やサイクリングロードの整備を関係機関とともに検討します。

また、広場や公園は、利用者である地区住民が主体的に維持、管理、運営等ができるよう支援します。

藤沼湖自然公園は緑の拠点として位置づけ、藤沼湖の安全対策を強化し、市民をはじめ多くの方が安全に藤沼湖自然公園及び温泉施設、パークゴルフ場等を利用し、自然に触れることができるよう機能の維持・向上を図ります。

【環境・景観】

地区の中央を流れる江花川沿いは水田が広がり、その後背地には里山が見られ、豊かな田園風景が広がっています。

里山や、在来種の動植物を保護し、市民、ボランティア団体及び環境機関が協力して自然を学べる環境づくりを検討します。

永泉寺や護真寺をはじめとした桜の名所について、美しい景観の維持・保全に努めます。

田園景観、集落、江花川等からなる田園景観ゾーンは、地域ごとの集落環境や希少な動植物が生息できる田園環境として保全します。また、地区内には清水が湧く場所が多く、水環境の維持に努めます。

国道 118 号、国道 294 号、主要地方道長沼喜久田線及び市道 I-38 号線沿道については、背景となる田園、自然景観に配慮した景観の維持・形成に努めます。

長沼市民サービスセンターを中心とした区域は、長沼城下町をイメージできるような景観形成を目指します。

【災害対策】

高齢化や人口減少等により、今後の地域防災力に課題があるため、自主防災組織の結成や日常における地区住民間での協力、連携の強化等を推進することにより、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

【地域活動・その他】

地区住民は、沿道の緑化等により、地域の環境維持に努めています。今後も地区住民が協力して行う環境維持活動を支援します。

観光客を集客するため、地域資源である神社やそれに関連する伝統行事等を PR し、地区の賑わいを創出する仕組み作りを地区住民と協働で検討します。

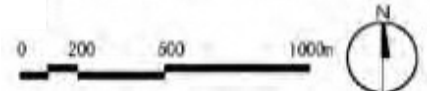
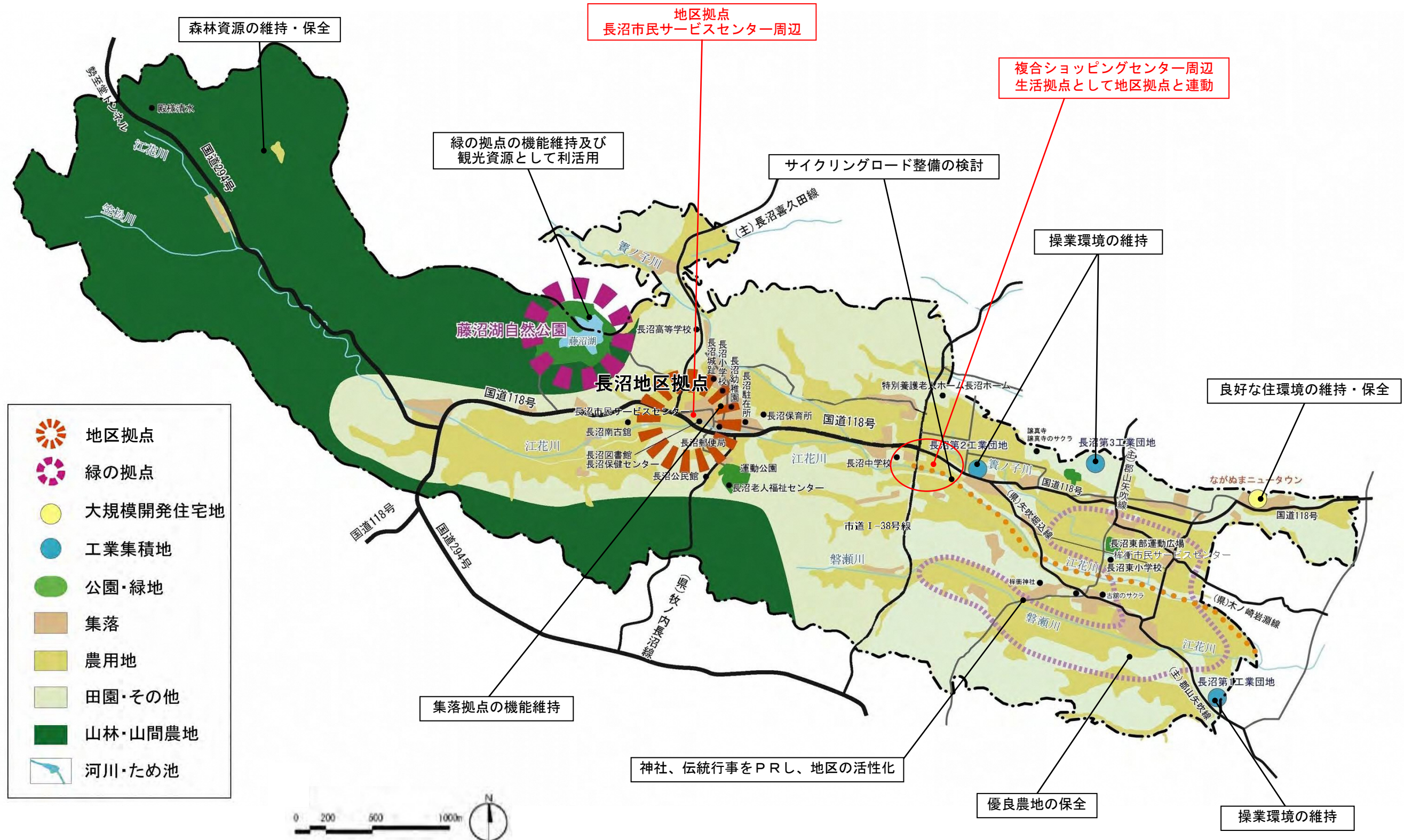
地場産品の地産地消の拡大や特産品開発等について関係者と協議し、地区の農業の活性化を進めます。

地区拠点の「長沼市民サービスセンター」周辺を中心に、生活拠点となる「複合ショッピングセンター」周辺、観光拠点となる「藤沼湖自然公園」や「榊衝神社」等、それぞれの拠点の連携強化により、観光の振興や地域コミュニティの活性化を図ります。

さらに地区拠点と隣接地区の双方を循環する、交通や地域連動のネットワークを形成し、交流人口の増加に努めます。

地区の活性化活動として、農業従事者が多いことを生かした、グリーンツーリズム^{※29}の推進や農業者主催のイベント実施等、農業の振興を図るため、空家や空地など、現在利用されていない場所を活用し、地域コミュニティの活性化に努めます。

長沼地区まちづくり方針図



2-9. 岩瀬地区

1. まちづくりのテーマ

地域資源を活用した地域間交流と健康に暮らせる地区づくり

2. 地区の特性と将来像

- ・岩瀬地区には、市無形民俗文化財の里守屋・梅田地区に伝わる三匹獅子や国登録文化財の渡辺家住宅など、多くの文化・観光資源があります。また、自然環境に恵まれ、新池には冬になると白鳥が飛来します。
- ・大滝川周辺には、川遊びやバーベキューができる大滝川公園があり、その周囲には八幡岳森林公園も整備され、自然散策やマレットゴルフ^{※37}を楽しむことができます。
- ・いわせ悠久の里及び隣接する総合運動場や野球場、須賀川特撮アーカイブセンター^{※38}等の施設があります。
- ・自然、景観、文化遺産等の保全と、住民の生活基盤整備に努め、安全で安心して暮らせる地区づくりを目指します。
- ・地場製品のブランド化やイベントなどを通じて産業振興を図り、地域活性化を進めていきます。
- ・市街地との良好な関わり方を検討し、最適な地区のネットワーク形成や住環境に必要な生活利便性の向上を図るため、地区拠点づくりを目指し、世代間のコミュニティの活性化を図ります。
- ・大滝川公園、温泉施設などの観光と、岩瀬市民サービスセンターや岩瀬公民館、須賀川特撮アーカイブセンター等の公共施設及びいわせ悠久の里や周辺地区の文化活動との連携を意識したネットワーク形成を図ります。
- ・地区内交流の中心となる場所は「岩瀬市民サービスセンター周辺」とし、住民主導の地域活動やまちづくり活動を通じて、世代間のコミュニティの活性化を図る地区を目指します。

- 多くの文化財や自然環境を保全・活用する地区
- 特産品づくりなどの産業振興により次世代に誇れる地区
- 豊かな自然環境を生かしたグリーンツーリズム^{※29}を展開し地域間交流を進める地区
- 生活基盤施設の整備を進め、みんなが健康に暮らせる地区
- 農産品のブランド化など農業の活性化を図る地区
- 豊富な文化・観光資源や公共施設を活用したまちづくり
- 地域内のコミュニティ向上と、市街地との良好なネットワーク形成
- 地区拠点を中心とした、地域施設の連携強化を図るまちづくり

3. まちづくりの整備方針

【土地利用】

（都市計画区域外）

いわせニュータウンは、住宅地として良好な住環境を維持・保全します。

岩根川、稲川、滑川沿いに広がる優良農地と点在する農村集落をあわせて田園集落地とし、良好な営農環境の保全や集落地の生活環境の維持・向上を図ります。

西部に広がる奥羽山地の山林・山間農地・集落地は、森林を支える基盤であり、本市の豊かな水の源であることから森林資源の維持・保全に努めます。

【道路・交通】

地区と中心市街地や隣接都市を連絡する主要地方道中野須賀川線・郡山矢吹線・長沼喜久田線、県道安積長沼線、市道 I-38 号線等の幹線については、安全で円滑な交通を確保するため関係機関と調整し、線形改良や歩道の設置等の整備促進に努めます。

生活道路^{※21}については、歩行者空間の確保や緊急車両に対応した幅員の確保等を地域住民と協力して安全対策を図ります。

冬期間の地吹雪や道路の吹きだまり、路面凍結に対する安全対策を図ります。

高齢者や子どもなどの交通弱者の移動手段を確保するため、既存バス路線の運行状況を踏まえ、利用目的に応じた公共交通を目指します。

【公園・緑地】

悠久の里は緑の拠点として位置づけ、その機能の維持・向上を図ります。

岩根川沿いに整備されているサイクリングロードについては、地区住民と協力し、維持・管理に努めます。

大滝川公園についても緑の拠点として位置づけ、その機能の維持・向上を図ります。

【環境・景観】

田園景観、集落、滑川、岩根川等からなる田園景観ゾーンは、地域ごとの集落環境や希少な動植物が生息できる田園環境として保全します。また、桜がきれいな場所や金喰川の源流や清水が湧く場所が多く、このような地区については、美しい景観や水環境の維持に努めます。

【災害対策】

高齢化や人口減少等により、今後の地域防災力に課題があるため、自主防災組織の結成や日常における地区住民間での協力、連携の強化等を推進することにより、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

【地域活動・その他】

地区の安心な暮らしを守るため、自治会等のコミュニティ組織の支援を推進します。

岩瀬市民サービスセンターや岩瀬公民館、須賀川特撮アーカイブセンター^{※38}を地域資源の中核として位置づけるとともに、近隣地区との連携を強化し、ネットワークを形成することで、交流人口の増加に努めます。

市指定無形民俗文化財の里守屋・梅田地区の三匹獅子等、伝統的な祭りを活用し、地区の活性化を図ります。

地区拠点となる「岩瀬市民サービスセンター」周辺や「いわせ悠久の里」を中心に地区の日常生活を支える機能の集積や維持を図るとともに、地域振興を推進します。

岩瀬地区まちづくり方針図

